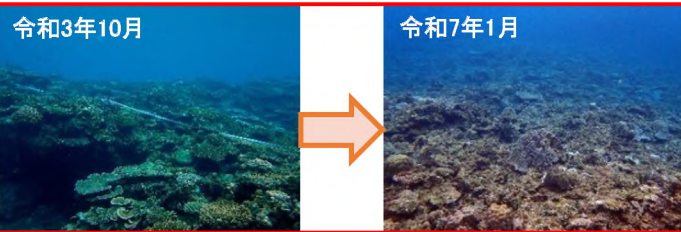


## 【巻末資料】

1. 種苗生産対象種の選定の経緯
2. 中間育成施設の水質環境等

# 1. 種苗生産対象種の選定の経緯(1/2)【第53回委員会資料2 p.2を再録】

- これまで、種苗生産の対象種については、種苗生産の実績のある種である15種のうち、大浦湾内の比較的サンゴ被度の高い範囲で生息が確認された種であることから、ミドリイシ属9種、キクメイシ属1種、カメノコキクメイシ属1種、トゲキクメイシ属1種の合計12種を「種苗確保可能な種」と位置づけた上で、そのうちの種苗生産実績の多い2種(ウスエダミドリイシ及びクシハダミドリイシ)と重要種等のクロマツミドリイシ、多様性を確保する観点からミドリイシ属以外で種苗生産実績も踏まえフカトゲキクメイシを加えた4種を対象種としていた(第35回委員会で提示)。また、産卵のタイミングが不規則なこともあるため、対象種4種の繁殖期にあわせた採卵を基本とし、その他の8種についても産卵の兆候を確認した際には採卵することとしてきた(第42回委員会で提示)。
- 令和6年夏期の高水温により大浦湾及び周辺海域で白化現象が確認されたことから、大浦湾に生息する対象種についても高水温の影響を受けた可能性が考えられた。そこで、令和7年1月、令和7年度の種苗生産の計画に際して、種苗生産の実績のある種(15種)の生息状況を再確認した。
- 確認の結果、これまで「種苗確保可能な種」と位置づけていた上記12種のうち、クロマツミドリイシ及びエンタクミドリイシの生息を確認できず、その他10種の生息を確認した。加えて、クシハダミドリイシについては、確認されたものの少数であり、種苗の確保が困難であると考えられた。
- 以上から、令和7年度の種苗生産の計画においては、クロマツミドリイシ、エンタクミドリイシ及びクシハダミドリイシを除いた9種を「種苗確保可能な種」とした。



実績報告のある種※の大浦湾における出現状況 令和7年1月調査

No.	属名	種名	※ 重要な種の保護の観点から表示していません。					確保可能な種		
1	ミドリイシ属	ツツユビミドリイシ	○	○	○	○	○	●		
2		クロマツミドリイシ	※ 重要な種の保護の観点から表示していません。					今回除外		
3		スギノキミドリイシ				○		●		
4		ウスエダミドリイシ			○	○	○	●		
5		ヤングミドリイシ				○		●		
6		クシハダミドリイシ				○		今回除外		
7		エダミドリイシ								
8		ヤッコミドリイシ				○		●		
9		エンタクミドリイシ						今回除外		
10		<i>Acropora donei</i>				○	○	●		
11		ニホンミドリイシ								
12		<i>Acropora globiceps</i>								
13	キクメイシ属	ウスチャキクメイシ	○	○	○		○	●		
14	カメノコキクメイシ属	ゴカクキクメイシ					○	●		
15	トゲキクメイシ属	フカトゲキクメイシ	○	○	○	○	○	●		
計	4属	15種	0種	3種	5種	10種	3種	5種	9種	

※ 実績報告のある種は、下記の事業、文献を整理。(第35回委員会資料から引用)  
 ・岩瀬文人. 平成23年, 「ここまでわかった幡多の海」講演要旨3 サンゴの一生をみたい-サンゴ種苗生産の取り組み-. CURRENT vol.12 No.3  
 ・大森 信・岩尾研二. 平成26年, 有性生殖を利用したサンゴ種苗生産と植え付けによるさんご礁修復のための技術手法  
 ・沖縄県環境部自然保護課. 平成29年, 沖縄県サンゴ礁保全再生事業総括報告書  
 ・環境省中国四国地方環境事務所. 平成17~23年度, 竜串地区自然再生事業海域調査等業務報告書  
 ・水産庁漁港漁場整備部整備課. 平成21~29年度, 厳しい環境条件下における増殖技術開発実証委託事業(ヤッコミドリイシ近縁種と*Acropora globiceps*? はそれぞれヤッコミドリイシと*A. globiceps* に含めた。また, *A. sp.4* は種が不明のため, 対象種から除いた)  
 ・水産庁漁港漁場整備部整備課. 平成30~31年度, 厳しい環境条件下におけるサンゴ礁の面的保全・回復技術開発実証委託事業

※ 重要な種の保護の観点から表示していません。

調査地点

# 1. 種苗生産対象種の選定の経緯(2/2)【第53回委員会資料2 p.3を再録】

- 種苗確保可能な種と位置づけた9種から、以下のとおり種苗生産対象種3種の選定を行った。
- 対象種としては、まず、種苗生産実績の多いウスエダミドリイシ及びスギノキミドリイシのミドリイシ属2種を選定した。また、多様性を確保する観点から、ミドリイシ属以外の属として、生産実績の知られるトゲキクメイシ属のフカトゲキクメイシを選定した。なお、ツツユビミドリイシも種苗確保可能な種かつ種苗生産実績が比較的多い種であるが、産卵月が5月～8月※<sup>1</sup>とされており幅があることから、採卵計画の設定が困難であり、対象種には選定しなかった。

※1 有性生殖によるサンゴ増殖の手引き(水産庁, 平成21年3月)

## 国内における種苗生産実績と重要種等を考慮した選定結果

No.	属名	種名	確保可能な種	種苗生産実績 <sup>※2</sup>	重要種等 <sup>※3</sup>	選定結果	
						前回(令和4年度)	今回(令和7年度)
1	ミドリイシ属	ツツユビミドリイシ	●	○			
2		クロマツミドリイシ		△	○	●	
3		スギノキミドリイシ	●	○		●	
4		ウスエダミドリイシ	●	◎		●	
5		ヤングミドリイシ	●	△			
6		クシハダミドリイシ		◎		●	
7		ヤッコミドリイシ	●	△			
8		エンタクミドリイシ		○			
9		<i>Acropora donei</i>	●	△			
10	キクメイシ属	ウスチャキクメイシ	●	△			
11	カメノコキクメイシ属	ゴカクキクメイシ	●	△			
12	トゲキクメイシ属	フカトゲキクメイシ	●	○		●	
計	4属	12種	9種	-	-	4種	3種

※2 種苗生産実績の凡例は下記の通りである。

◎: 既往報告が多い ○: 次いで知られる △: 既往報告が少ない

※3 環境省版海洋生物レッドリスト(2017)の掲載種



スギノキミドリイシ(樹枝状)



ウスエダミドリイシ(散房花状)



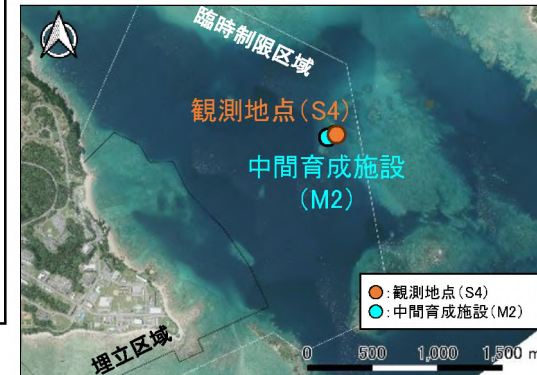
フカトゲキクメイシ(塊状)

選定したサンゴ類

## 2. 中間育成施設の水質環境等

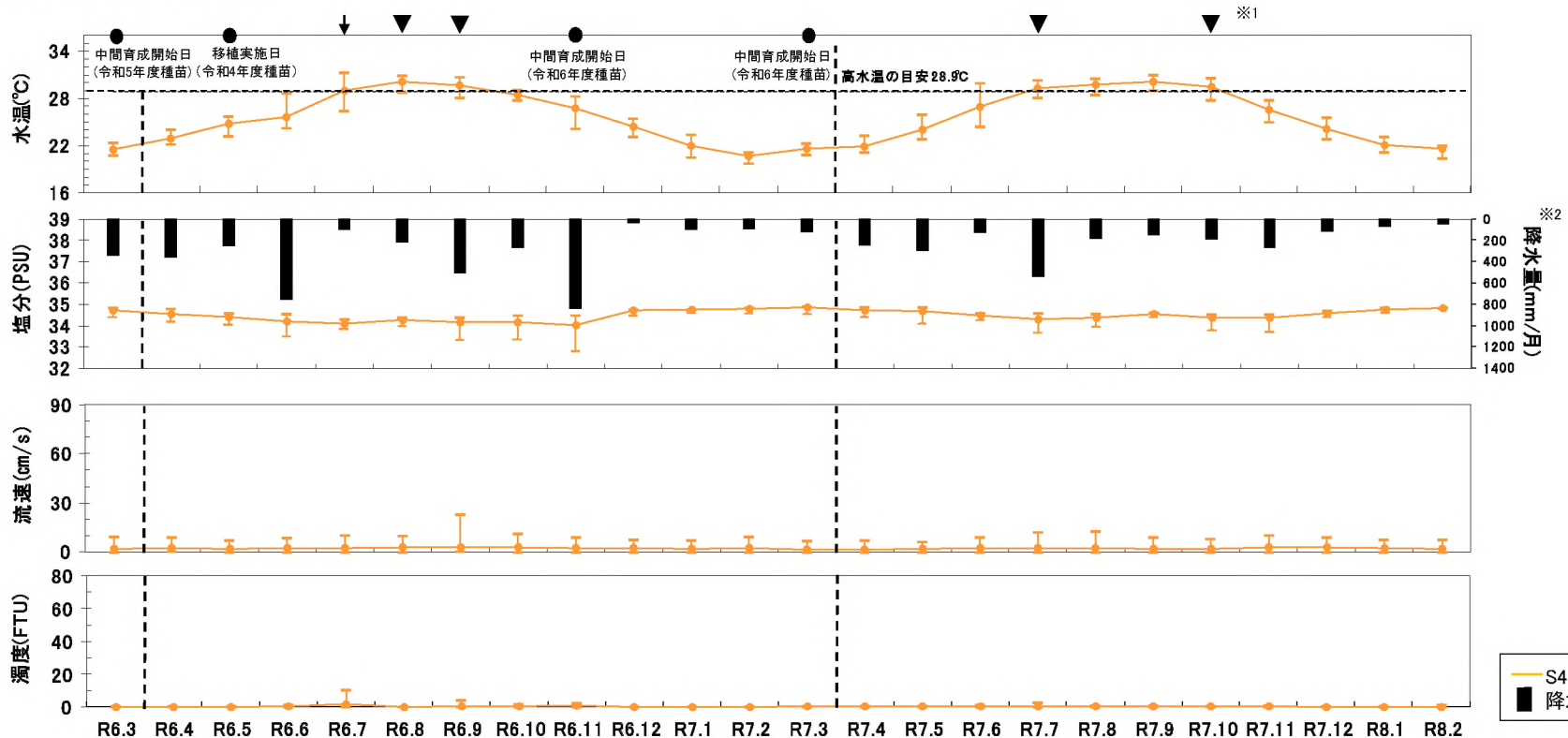
○ 中間育成施設の水質及び流速の連続観測結果は、以下のとおり。なお、観測地点は、中間育成施設の近傍に位置するS4地点としている。

- ・水温: 19.8~31.3°Cの範囲で推移。令和6年7~9月と令和7年7~10月の月平均は、高水温の目安である28.9°C以上を確認。
- ・塩分: 32.8~34.9PSUの範囲で推移。降雨時には、一時的な低下を確認。
- ・流速: 22.7cm/s以下で推移。
- ・濁度: 概ね1FTU以下で推移。



水質及び流速の観測地点

### ■水質環境等の確認結果



※1 大矢印(▼)は半径300km以内に接近した台風、小矢印(↓)は300km以上離れた位置を通過した台風を示す。

※2 降水量は、気象庁東地域雨量観測所のデータを引用。

※ グラフの値は月平均値を示し、エラーバーは最小値~最大値の範囲を示す。

※ 令和8年2月の月平均値は、令和8年2月1日~令和8年2月24日の観測値より算出。